

◆加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開

学校名	実施日	セミナー名・内容	参加者数
大手前大学・大手前短期大学	2023/9/1	ICT活用推進シンポジウム「教育DXとオープンエデュケーションの活用に向けて」	174名
◆高等教育機関での教育ICT推進及び業務DX化に向けた先進校の取組事例を学び、また大手前大学・大手前短期大学の業務・教育における実践をもとに参加者間での意見交換を行った。 (大学HP) https://gakuen.otemae.ac.jp/common/files/about/r5jigyo.pdf 令和5年度事業報告P.46記載			
関西学院大学	2023/8/31	「大学の授業と著作権について」	173名
◆関西学院大学・武田教育技術主事より、ルールが抽象的な表現にとどまっていることが多く、グレーゾーンが広いと言われている著作権法と大学の授業との関りについて、生成AIや補償金制度などのトピックを挙げつつ、実践的な内容について講演が行われた。			
関西学院大学	2024/3/21	「大学入学者選抜の過去・現在・未来」	128名
◆九州大学・木村教授より、現在の大学入学者選抜制度について、日本の大学入試や課題、また多面的な評価の必要性に注目した講演があった。併せて国立大学の現在の総合型・学校推薦型の入試について、自学の事例等の紹介もあった。			
甲南大学	2023/11/29	「教育学習DXプロジェクトに関するFD・SDセミナー～2023年度VRを用いた英語学習アクティビティの開発～」	10名
◆学生の自主的な語学学習支援のためのスペースであるKONAN Language LOFTで今年度より新たに始まったVRを用いた活動について、参加者によるVR体験も交えながら、VR活用に取り組んだ教員からの報告があった。(大学HP) https://www.konan-u.ac.jp/pdf/education/fd/pub/news25.pdf			
甲南大学	2024/3/7	「高等学校における探求学習に関するFD・SDセミナー」	47名
◆新学習指導要領から行われている高等学校の探究学習について、教育現場の探究学習に対する理解を深める・高大教育接続の課題を理解・取り組むべきポイントがイメージできることの3点を目的として、基調講演およびパネリストによる対談が行われた。			
神戸学院大学	2023/4/28	「学生を評価主体として育成するためのルーブリックの活用」	55名
◆ルーブリックが、教員が学生の評価を行うための単なる指標として使用されるだけでなく、学生の育成ためにも有用である、という視点からルーブリックの機能や効果、活用・作成方法について新潟大学・斎藤准教授より講演があった。 (大学HP) https://www.kobegakuin.ac.jp/files/iphe/journal/annual_report/kgu_fdannualreport_2022-2023.pdf			
神戸学院大学	2023/6/9	「自学自習を促すシラバス作成法」	28名
◆学生の自学自習と学修を促すためのシラバス作成方法について、神戸学院大学のシラバスに沿った講演が実施された。			
神戸学院大学	2023/7/7	「大学における人間関係と教員の役割」	34名
◆近年の、大学における多様で複雑な人間関係に付随し、多岐にわたっている教職員の役割について、様々な学生を対象とした調査結果を基に講演が行われた。			
神戸学院大学	2023/9/4	「知の創造セミナー「ワクチン開発研究の可能性～新型コロナウイルスから難治性がんまで～」	54名
◆最新の研究成果を紹介する中で、大学教員の経験やモチベーションを高め、教員間の連携強化を促進し、共同研究の可能性を高め、大学教育や研究の質を向上させることを目指している「知の創造セミナー」。今回は「ワクチン開発研究の可能性～新型コロナウイルスから難治性がんまで～」と題し 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所山本センター長より講演があった。			
神戸学院大学	2023/9/5	「これからの高大社接続を考える～アフターコロナの観点から～」	43名
◆学生の適性や興味に合った進路選択の支援と、実践的なスキルを身につけ、社会への適応力を促進するために必要不可欠な高大社接続の重要性について(株)ベネッセi-キャリアの小田氏よりデータを基に講演が行われた。 (大学HP) https://www.kobegakuin.ac.jp/files/iphe/journal/annual_report/kgu_fdannualreport_2022-2023.pdf			
神戸学院大学	2023/9/30	「専門職連携教育 (Interprofessional Education) 5周年記念シンポジウムこれからの専門職連携教育を考える」	158名
◆神戸学院大学と神戸市立看護大学が取り組むIPE (Interprofessional Education: 専門職連携教育) についての概要説明や慶応義塾大学・春田教授によるIPEの特別授業が実施された。参加者同士が話し合う場面やコメントを共有する時間があり、学生・教職員が学部・学科を越えて交流する機会にもなった。 (大学HP) https://www.kobegakuin.ac.jp/news/49e9596b6b17133bc42f.html https://www.kobegakuin-sr.jp/news/view.php?id=1539			
神戸学院大学	2023/11/10	「ゼミ運営における学生同士の学びのプロセスと人間関係」	27名
◆関西大学・山田准教授招き、これまでのゼミ活動を振り返りながら、多様化する学生との関わり方により、変化しているゼミ運営における教員の関りについて講演が行われた。(大学HP) https://www.kobegakuin.ac.jp/files/iphe/journal/annual_report/kgu_fdannualreport_2022-2023.pdf			
神戸学院大学	2023/12/19	「データ活用人材を育てる～いま、求められる文理融合型データサイエンス教育と大学必修化の背景～」	40名
◆データサイエンス教育について、自学の事例、諸外国の状況、そして日本の教育界における現状と問題について立正大学・渡辺教授より講演があった。 (大学HP) https://www.kobegakuin.ac.jp/files/iphe/journal/annual_report/kgu_fdannualreport_2022-2023.pdf			
神戸学院大学	2024/1/26	「知の創造セミナー「主鎖改変を基盤とする中分子ペプチド創薬：アルケン型ペプチド結合等価体2.0」	49名
◆最新の研究成果を紹介する中で、大学教員の経験やモチベーションを高め、教員間の連携強化を促進し、共同研究の可能性を高め、大学教育や研究の質を向上させることを目指している「知の創造セミナー」。今回は「主鎖改変を基盤とする中分子ペプチド創薬：アルケン型ペプチド結合等価体2.0」と題し 静岡大学大学院・鳴海准教授より講演があった。			
神戸松蔭女子学院大学	2023/8/7	「大学教育におけるPBLの開発に向けて」	70名
◆大学教育におけるアクティブラーニングの1つとして、PBL教育実践の可能性に関心が集まっている現在、その基本的な考え方についての共通理解をつくり、具体的な実践例の紹介とプロジェクトのアイデアを出し合うことで、教職員が学び合い、PBLを開発する場となった。			
神戸松蔭女子学院大学	2023/9/8	「課題解決型授業から課題解決授業へ」	62名
◆授業のためのプロジェクトではなく現実の課題を解決するための授業と位置付けられた、よりリアルなPBLの実施について、神戸松蔭タータンプロジェクトを中心に、ファッション・ハウジングデザイン学科で展開された課題解決授業について紹介が行われた。			

神戸松蔭女子学院大学	2023/9/8	「学生の主体的な学びを促す動画教材」	64名
◆2021年に行った授業の実践例をもとに、新型コロナウイルス感染拡大期における学生の主体的な学びを引き出す重要なツールの1つである動画教材について、その作成の意図や工夫、問題点の提示を行いながら今後の活用について考える機会となった。			
神戸親和大学	2023/8/24	「Chat GPT 等生成 AI の業務での利用について」	139名
◆学校事務における作業効率化を図るための、Chat GPT 等生成 AI の利用について、神戸親和大学・中尾教授より講演があった。			
神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部	2023/9/11	「これからの時代に応じた大学入試や大学改革の方向性を探る」	122名
◆少子化・大学の全入時代を迎え、学生に魅力ある教育の質を保证するための取り組みについて文部科学省高等教育局より平野氏を迎えた基調講演を通して、知見を得る場となった。			
兵庫大学	2023/11/8	「GIGA世代と大学教育に求められる変化」	116名
◆兵庫教育大学の森山教授の研究を踏まえ、初等中等教育における情報教育改革の動向や、高校生の情報リテラシーの実態の実態、および大学における情報教育の課題と展望について、兵庫教育大学での実際の取り組み事例の紹介を交えつつ講演が行われた。 (大学HP) https://www.hyogo-dai.ac.jp/research/fd/news/2023/01247976.html			
兵庫大学	2024/3/7	「主体的に学ぶ学生を育てるために～授業と学習環境のデザイン～」	81名
◆主体的に学習する学生を育てるために、どのように授業デザインを行っていったらよいかを主題として実施。40分の基調講演に加え、各教員が学んだ内容やスキルを新年度の授業にすぐに活用できる、実践に役立つワークショップを交えた形態で行われた。 (大学HP) https://www.hyogo-dai.ac.jp/research/fd/news/2023/03278172.html			

◆加盟校教職員を対象とした大学教育等に関する講演会等の開催

1. 令和4年度大学設置基準等の改正関連 124名

2022年10月より大学設置基準等の改正が実施され、対応等に苦慮する大学が多々あることが想定されるため、文部科学省担当者による講演を開催。主に「グランドデザイン答申等について」「大学設置基準等の改正について」「今後の教職協働の在り方について」の3点からの詳細な説明、質疑応答を通じて、加盟校教職員での情報交換の促進を図った。



2. 内部質保証システム等に関するFD・SDセミナー等の開催 173名

認証評価等において、近年内部質保証が重視されている一方で、加盟校においては、その体制作りから実質化まで、様々なフェーズで対応に苦慮されていることが想定される。「中退予防におけるIR」や「内部質保証システムの実質化を考える」セミナーを実施することで現場が動き出す効果を狙った。

IR活動の先進校における取り組みの紹介やディスカッションを通じたセミナーや、具体的なツール勉強会を定期的で開催。教職員の資質向上と教職員間の交流を促進。